

宝塚市水のマスタープラン (概要版)



平成 15 年 2 月

宝 塚 市

1 水のマスタープランとは

1 策定の背景

市民のニーズは、治水（雨に強いまちづくり）、利水（量的・質的に安定した水道の供給）に加え、「水」が持っている「うるおい」や「やすらぎ」を与える環境要素を意識しているといえます。

これは、平成11年3月にとりまとめられた「宝塚市わがまちの水を考える100人委員会」においてもその要求の高さを知ることが出来ます。また、「宝塚市環境基本計画」においては、水環境の保全・生き物の棲息の場の保全・水と緑のネットワークづくり、また、「たからづか都市計画マスタープラン」においては、清らかな水と水辺の都市空間づくりなど「水」に関する施策を実施する予定になっています。

以上のような背景から、市域内の「水」に求められる「環境」、「親水」、「治水」の役割をバランスよく活かした生活環境を創出するため、「水」に関する施策の基本方針を示す「水のマスタープラン」を策定します。

2 水のマスタープランの役割

水のマスタープランは「水を活かしたまちづくり」を進めるための基本的な考え方を示すとともに、「水」に関する施策をスムーズに推進するための環境を整備するために策定します。



宝塚市を流下する武庫川（見返り岩付近より下流を望む）

3 宝塚市水のマスタープランの3つの視点

「水」は大雨時には大きな流れとなって流下し、市民に脅威を与え、一方で、普段はせせらぎの音、みなものゆらぎなどによって日々の市民生活に対して「うるおい」や「やすらぎ」を与える面もあります。そこで、市域内の「水」を環境、親水、治水の3つの視点でとらえた「水のマスタープラン」を策定するものであります。

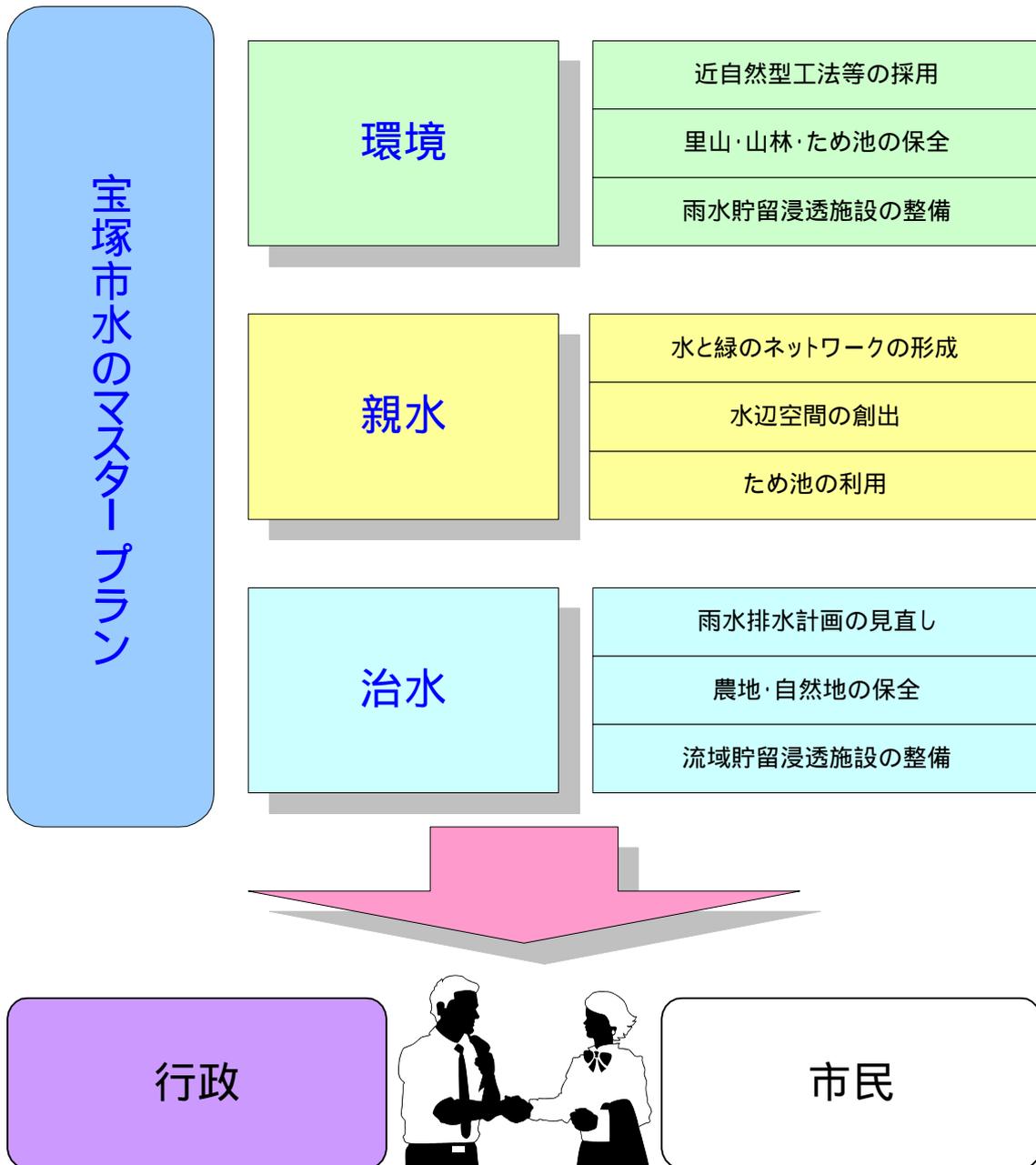


図 1 水のマスタープランのイメージ

農地での水環境改善の方法

- 農地・自然地の保全
- 開発の規制
- ため池の保全



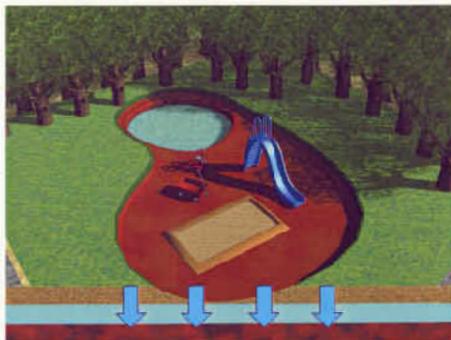
ため池の保全

市街地での水環境改善の方法

- 調節池
- 透水性舗装
- 雨水貯留浸透施設
- 親水公園
- 遊歩道
- ため池の保全



親水公園・せせらぎ水路の整備



親水公園の整備
公園での貯留浸透施設

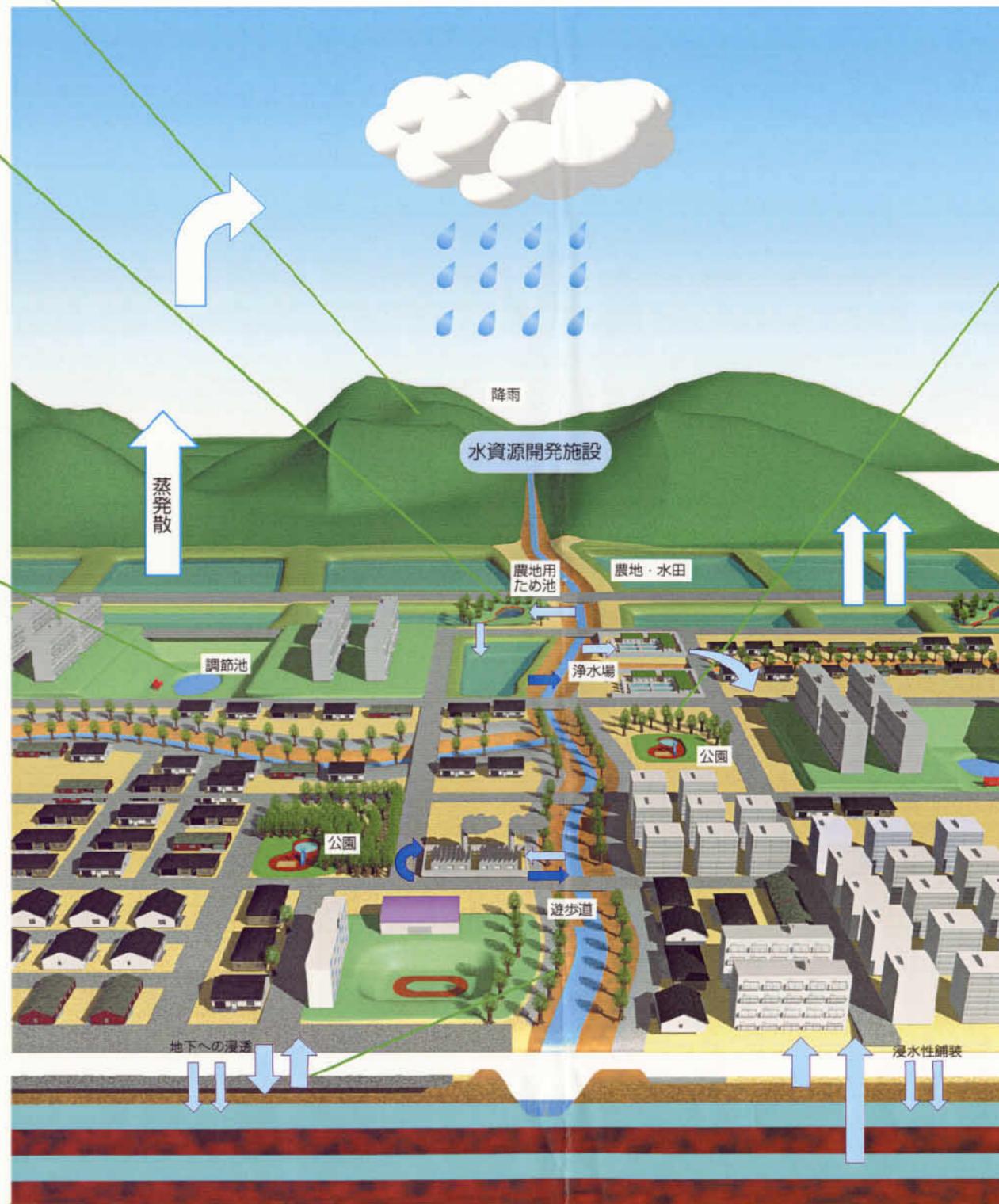
河川・水路での水環境改善の方法

- 近自然型工法
- 親水公園
- 遊歩道

山（水源）での水環境改善の方法

- 植林
- 開発の規制
- 里山の保全

水のマスタープランが対象とする事象
(将来：水のマスタープランを実施した後)



市街地での水環境改善の方法

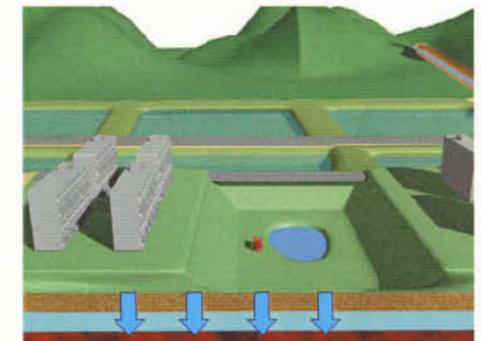
- 調節池
- 透水性舗装
- 雨水貯留浸透施設
- 親水公園
- 遊歩道
- ため池の保全



校庭貯留



各戸貯留浸透施設



集合住宅に親水空間の整備
集合住宅での棟間貯留浸透施設

●行政が主体となる関わり方

- 助成制度の整備
- 小規模開発への規制(開発指導要綱の整備)
- 地下水利用規制
- 下水道・合併浄化槽の整備
- 公共・公益施設への貯留浸透施設の設置・維持管理
- 環境教育
- 住民活動・ボランティア活動の支援

●民間企業等の関わり方

- 雨水貯留浸透施設の設置(棟間貯留浸透施設など)
- 中水・回収水の利用
- 排水の高度処理
- 住民活動・ボランティア活動の支援

●住民が主体となる関わり方

- 住民参加・ボランティア活動(河川・水路・ため池の清掃等)
- 環境教育
- 各戸貯留浸透施設の設置・維持管理
- 節水
- 水洗化
- 合併浄化槽の整備

水のマスタープランが対象とする範囲を上記に示します。この中には大きく「自然の水循環」と「人為的な水循環」の2つの流れがあり、それぞれの流れの中で、「環境」、「親水」、「治水」を考慮した水環境の創出・改善を目指します。その方法は図中の緑枠に示すような方法などが考えられます。これらは行政だけで行うのではなく、市民の方と一体となって協働で実施してゆくことが重要と言えます。そのためには、市民の方にも積極的に水環境整備に参加してもらうことが必要です。立場別の水環境への関わり方を右の青枠に示します。